

なら記紀・万葉プロジェクト

# これまでの歩み

2012年から9年にわたる本プロジェクトでは、さまざまなイベント・行事等を通して、奈良県内外のみならず、奈良県の歴史・文化の魅力を発信してきました。その試みは、まだまだこれからも続きます。



2014年  
**大古事記展**

奈良県立美術館で、『古事記』の魅力伝える展覧会を開催しました。展示品は古社に伝わる宝物から気鋭の現代アーティストの新作まで多岐にわたり、10万人以上の来館者がありました。



2015年  
**全国観光ボランティアガイド奈良記紀サミット**

全国の観光ボランティアガイドが奈良に集まり、記紀・万葉や地元の伝承、歴史などをテーマにした地域紹介、地域間交流の可能性について、話し合いました。



2020年  
**「なら記紀・万葉プロジェクト」集大成となるイベントを開催**

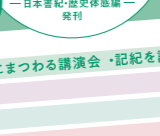
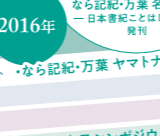
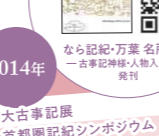
「なら記紀・万葉プロジェクト」の集大成となる2020年は、シンボルイベントである「ならの次代へ」を始め、さまざまな記念事業を開催しました。また、この年は古代の政治家・藤原不比等没後1300年にもあたり、奈良時代を考える連続講演会、トーク&コンサート、記念シンポジウムなども行いました。

2020年  
**『日本書紀』完成、藤原不比等没後1300年**

- ・日本書紀完成・藤原不比等没後1300年記念イヤー・オンラインイベント
- ・特別展 出雲と大和
- ・なら記紀・万葉集大成連続講演会
- ・「なら記紀・万葉プロジェクト」2020集大成シンポジウム
- ・『日本書紀完成・藤原不比等没後1300年記念』イベント

2012年  
**『古事記』完成1300年**

- ・記紀・万葉リレートーク(2012年~2013年)
- ・「古事記出版大賞」表彰式・記念シンポジウム(2012年~2013年)
- ・記紀・万葉ウォーク(2012年~2016年)
- ・古事記完成1300年記念シンポジウム
- ・全国高校生歴史フォーラム(2013年までは奈良大学の主催、2014年からは奈良県と奈良大学の共催)



2013年~  
**古事記のまつり**



『古事記』に親しみ、その魅力を体感する「古事記のまつり」を、2013~2018年に計6回開催しました。「古事記朗読大会」「こども古事記かるた大会」などを行い、老若男女問わず、たくさんの方にお越しいただきました。

2014年  
**首都圏記紀シンポジウム**



2014年、東京都千代田区の日本教育会館一ツ橋ホールで、首都圏記紀シンポジウム「古代・現代・未来と記紀」を開催しました。3部構成で、最後には「古事記出版大賞」の発表、表彰式も行いました。

2015年~  
**日本書紀 こども塾**



「古事記かるた大会」や「日本書紀すくく大会」などを通して、子ども達に楽しみながら、記紀に親んでもらうイベントです。2015年から、県内各地で開催しています。

2016年  
**なら記紀・万葉 ヤマトナデシコ塾**



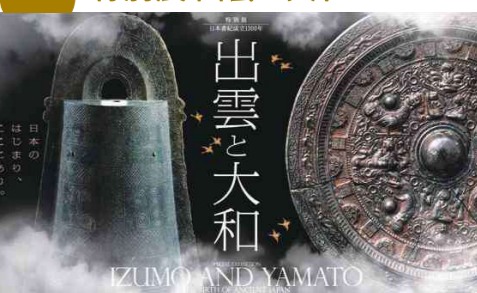
東京南青山の鑄仙会(てっせんかい)能楽堂で、古代衣装着用体験のワークショップを行いました。華やかな雰囲気の中、マンガ家の里中智子さんによる「古代日本女性の美力」の講演なども盛況でした。

**講演会の開催は数えきれないほど!**



2017~2019年に行った「古代にまつわる講演会・記紀を語る講演会」、2015~2017年の「日本書紀を語る講演会」、2013~2014年の「古事記を語る講演会」、2012~2013年の「記紀・万葉リレートーク」など、期間中開催した講演会は数えきれないほど。たくさんの講師の方に、「記紀・万葉」の魅力を語っていただきました。

2020年  
**特別展 出雲と大和**



島根県と奈良県が共同し、東京国立博物館において古代日本の成立やその特質に迫る展覧会を開催しました。古社に伝わる神宝から出土品、仏像まで、日本の始まりを感じさせる文化財が一堂に会しました。

2012年  
**古事記完成1300年記念シンポジウム**

『古事記』完成1300年である2012年は1月に東京でシンポジウム「日本の原風景に出会う古事記の世界」、また9月には、橿原文化会館でシンポジウム「古事記からの伝言。〜はじまりの地・奈良・あらたな始まり〜」を開催しました。

